

No.19	感染管理対策室
QI	タゾバクタム/ピペラシリンDOT
分子	タゾバクタム/ピペラシリン使用延日数
分母	延べ入院患者数
根拠	医療施設における抗菌薬の使用状況を使用量単位で評価可能な指標で、世界的にも広く使われているタゾバクタム/ピペラシリンは広域抗菌薬であり、使用量が過剰になると耐性菌を誘導するといわれている。このため、必要最小限の使用が求められQI指標として公表することによって抑止効果も期待できる。集計方法は抗菌薬使用量集計マニュアルに準拠して求める。
目標	12.2以下。 前年度以下。世界的目標となる基準はないが、これまでの当院の使用量（昨年度12.2）を勘案し、前年度以下とする。

